

# 『サバメシ』作りにチャレンジ！

「災害時でも温かい食事を食べたい」

その実現のために必要な知識と経験を、家庭科の授業内で学んでいます。

『サバメシ』とは「鯖のご飯」のことではなく、ズバリ『サバイバル飯』！つまり、非常時で生き抜くための食事、のことです。ちなみに本校は防災・減災教育に力を入れており、北名古屋市とも連携した取り組みを行っています。

今回は、10月22日から31日の期間内に、1年生全クラスで実践しました。使う道具は、空き缶や牛乳パックなど、ゴミとして捨てられてしまうものを再利用して、ご飯を炊くことにチャレンジしました。

火力の調整が難しく、出来上がりの時間に大きな差がありましたが、最後はみんな温かいご飯をおいしくいただきました。実際に被災した際は、今回の体験を生かします。

